

日本の起業家教育 現状と課題

塩沢由典(創造都市研究科長予定者)

(1)ベンチャー振興政策における最大の課題

リスクをとる気風の欠如  
起業家/キャピタリスト/買い手/就職希望者  
社会の気風・価値観の問題

(2)日本の起業家教育

全段階で同時スタート  
小学校 高等学校 大学学部 大学院  
生徒・学生の教育 親の教育  
現状では啓蒙・動機付けが主

ベンチャー起業家に要請される知識  
現状は、短期講習が主(深さと広さにおいて不十分)  
専門的な大学院修士課程が必要  
強い動機と事前の経験 =>社会人大学院  
Cf. 大阪市立大学大学院創造都市研究科アントレプレナーシップ研究分野

知識教育ではすまない。  
企業家精神(人格的態度)  
感化の時間と場  
Cf. 進藤晶弘(メガチップス、メガフュージョン創業者 現職のまま特任教授に)

(3)社会の気風を変える

社会の教育運動  
マスメディア オピニオン・リーダー 学校教育・生涯教育

ベンチャー学会の目標  
日本ベンチャー学会/関西ベンチャー学会  
1.ベンチャーを研究する。  
2.ベンチャーを盛んにする運動をする。  
学会として社会に働きかける。  
最大の政策提言では

最大の教育  
成功事例を身近に作りだす。  
学校教育と社会運動とは、車の両輪